

図 14 従来の介助法による膝の位置

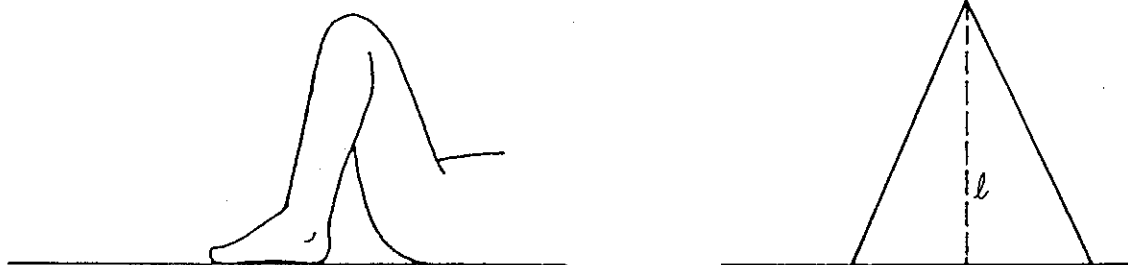


図 15 新技術による膝の位置 (H 8 年度報告)

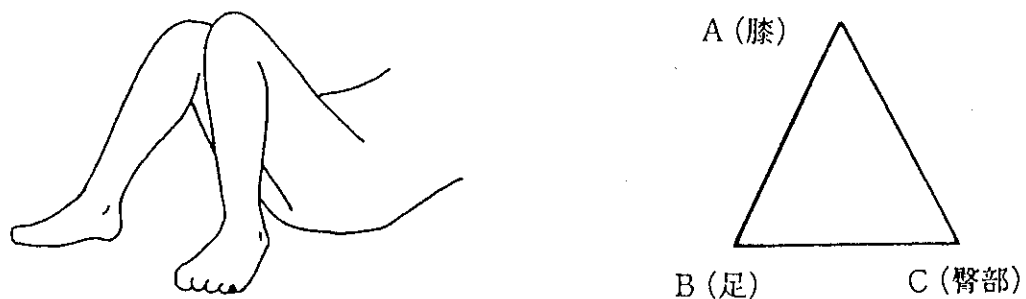


図 16 新技術による介助時の姿勢

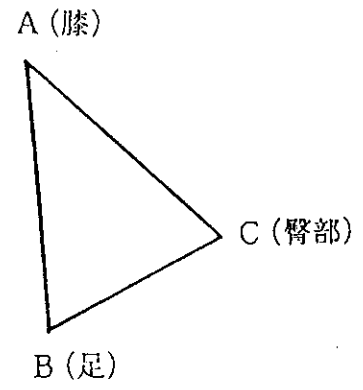
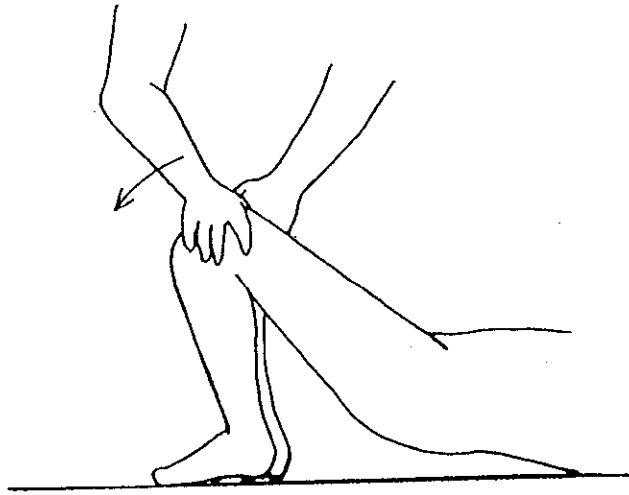


図 17 新技術による腰臀部の挙上

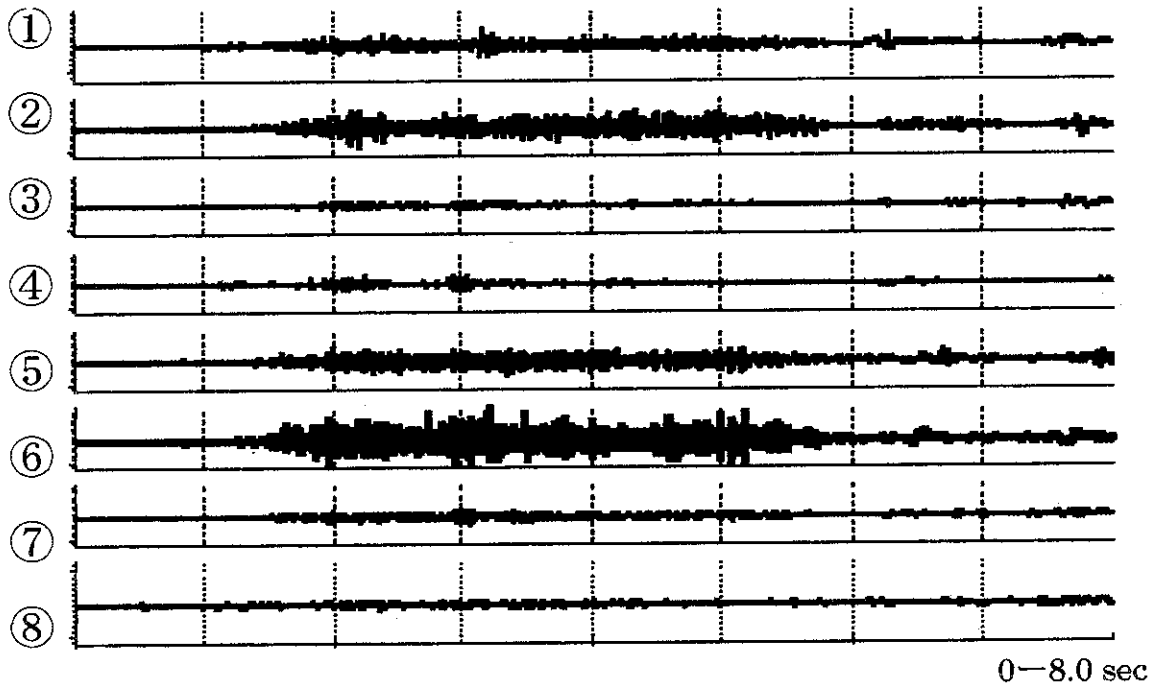


図 18 2人で腰臀部を持ち上げた場合

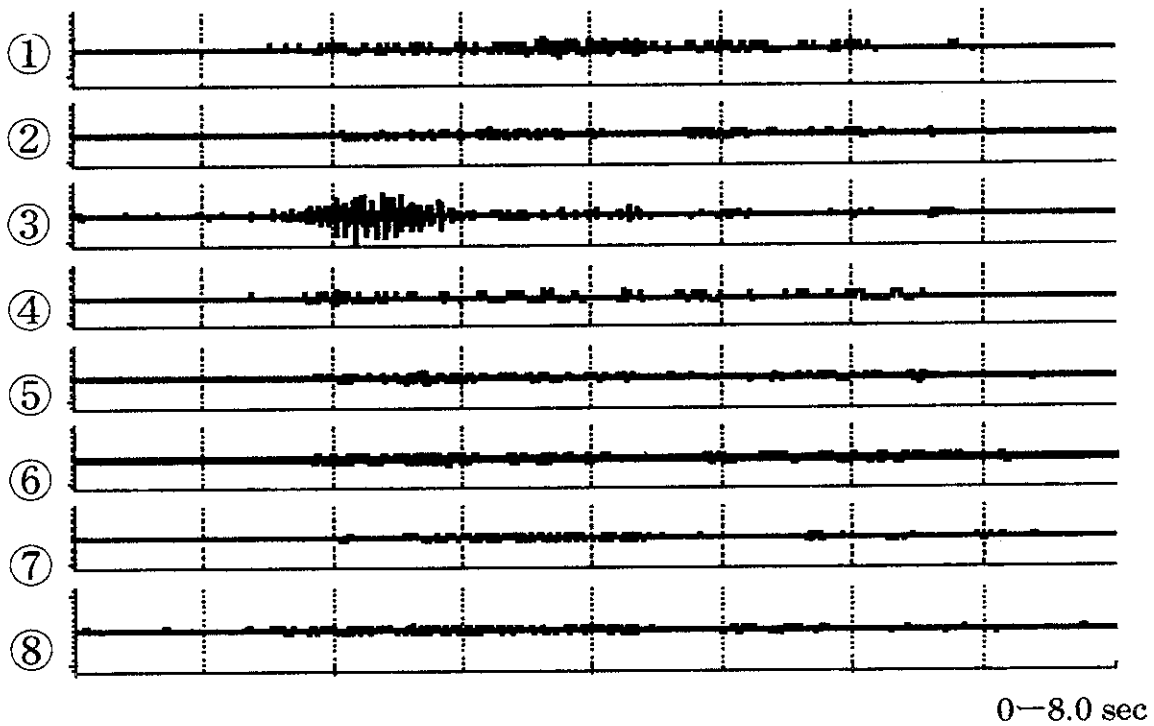
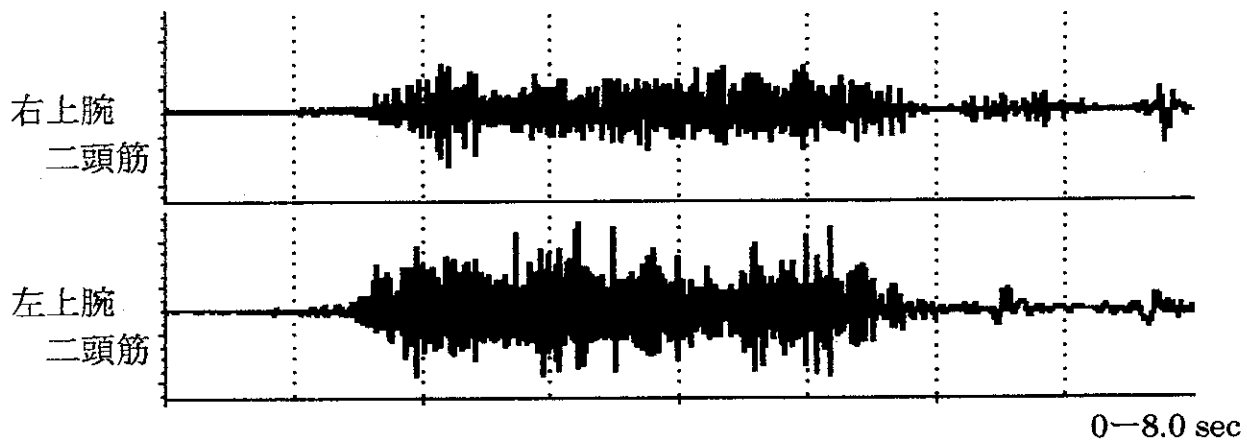
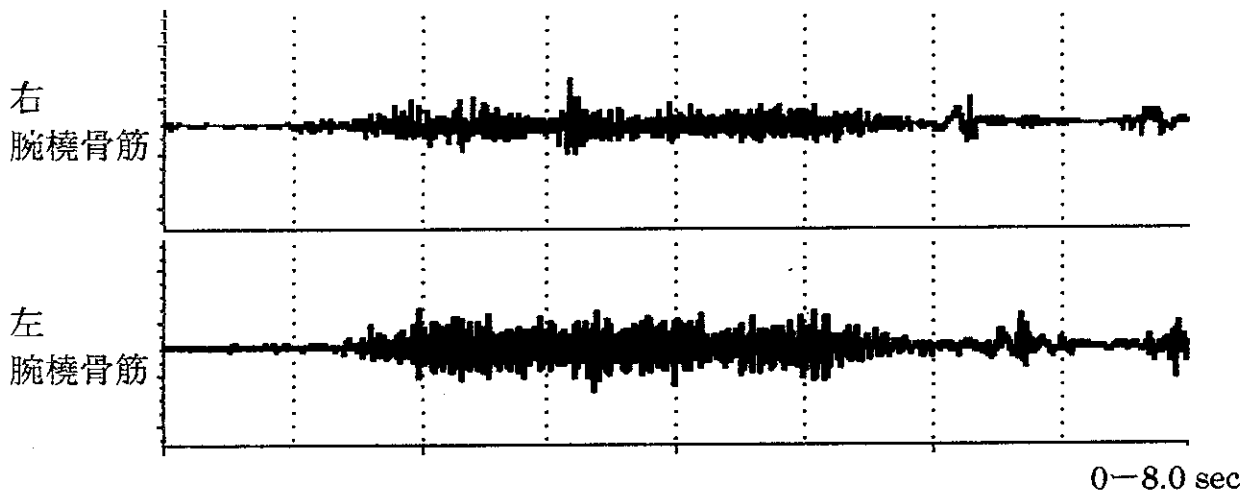


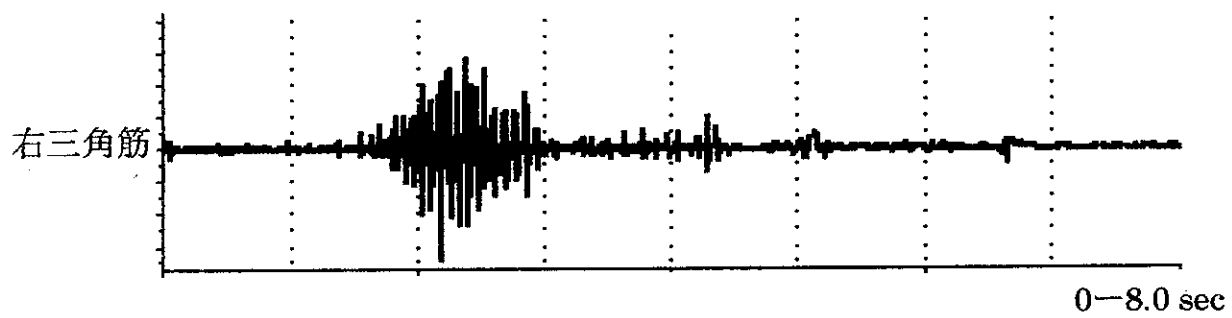
図 19 1人で腰臀部を挙上させた場合

表面筋電図測定部位

①右腕橈骨筋	②右上腕二頭筋	③右三角筋	④右僧帽筋
⑤左腕橈骨筋	⑥左上腕二頭筋	⑦左三角筋	⑧左僧帽筋



a. 2人で腰臀部を持ち上げた場合



b. 1人で腰臀部を挙上させた場合

図 20 2つの技術の比較

研究組織

主任研究者	紙屋克子	筑波大学社会医学系
研究協力者	柏木 とき江	筑波記念病院看護部
	伊藤 綾	筑波大学医科学研究科
	中澤 元香	筑波大学医科学研究科
	楠野 泰之	筑波大学医学研究科
	李 覚	筑波大学医科学研究科
研究協力施設	筑波記念病院	